

授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学終了報告書

留学プログラム名	派遣交換留学		
所属(本学)	工学部 経営システム工学科		
現在の学年	学部3年		
留学先国	スウェーデン	留学先大学	リンシェーピン大学
留学期間	2015年8月25日～2016年1月10日		

① 留学先大学の概略

私が留学していたリンシェーピン大学は、首都ストックホルムから電車で2時間ほどの場所に位置しています。4つの学部(Arts and Sciences, Educational Science, Health Sciences, Institute of Technology)があります。キャンパスはリンシェーピンとノーショーピンにあります。キャンパス間は、バスで1時間くらいで移動できます。リンシェーピン大学の学生証があれば、無料で利用することができます。

私はリンシェーピンのキャンパスで授業を受けていました。リンシェーピンキャンパスは北欧風のお洒落な建物と、緑が広がる綺麗なキャンパスです。南北に長く伸びており、端から端まで歩くと10分くらいはかかります。

学生は約2万人です。体感的には留学生がかなり多かったような気がします。留学生満足度が世界一の大学らしいです。

② 留学前の準備

東工大の授業について

入学当初から、在学中に留学したいと思っていました。留年しなくなかったし、帰国後研究室に所属しながら不足分の単位の取得に追われなくなかったのも、ホームページや先輩の話参考に、計画を立てました。私の学科の場合、3年前期までに計画的かつ戦略的に単位を取得すれば、それらを解消できることがわかりました。なので、1年生の頃から単位には困らないように、普通の人よりも多くの単位を取得していました。その中で、留学中の奨学金のことも意識すると、成績が良い方が有利だったので、成績もおろそかにしないように心がけていました。その結果、3年前期までに卒業単位を全て取得し終え、JASSOの奨学金をいただくことができました。

英語の学習について

リスニングとスピーキングが不得意だったので、とりあえず家にいる時や移動時間に英語を聞き流して、リスニングの対策をしました。

また、派遣交換留学の半年前に語学留学をしました。アメリカのワシントン大学に行きました。たまたま学内でそのプログラムのチラシを見つけたのがきっかけで、派遣交換留学前に一度短期で留学を希望していたのでちょうど良かったです。

留学の手続き、情報収集等について

留学の手続きは留学生交流課に申請後は、基本的に留学先の大学と直接的にやりとりしました。入学手続きや、寮の申請については基本的に大学の指示に従っていれば大丈夫でした。一つ注意したのは、スウェーデンのビザの取得です。時間がかかるので、最低でも2ヶ月前には申請を済ませるように、留学生交流課から言われていたので、できるだけ早めに動きました。

③ 留学中の勉学・研究

留学は1セメスターだけだったのですが、その中で授業が前期、後期といったように2つに分かれていて、多くの科目はどちらかだけで完結するようになっています。授業を全てを消化すると、その期末にテスト期間があります。テスト時間が4時間で、飲食物が持ち込み可能なことが個人的には驚きでした。

授業登録したのは以下の科目です。

- ・Communication in English for Exchange Students(前期)
- ・Statistics(前期)
- ・Project Management and Organization(通期)
- ・Intercultural Communication(後期)
- ・Written English Communication for Exchange Students(後期)

一つ一つ見ていくと、

Communication in English for Exchange Students(前期)

英語を話すことに主眼が置かれた授業で、グループを作って話し合う機会がたくさんありました。

Statistics(前期)

講義と演習がペアになっていて、授業で学んだことで次の時間に演習に取り組むというシステムでした。教科書がスウェーデン語のみだったので、配布資料とホームページを利用して勉強しました。

Project Management and Organization(通期)

前期はプロジェクトマネジメントの体系を学び、実在する家屋について、そのリフォーム計画を提案するという内容でした。実際にその家屋に足を運び情報を集めました。授業外もグループで集まって作業していました。後期は他の授業とかぶってしまい、授業を受けられませんでした。

Intercultural Communication(後期)

文化の違いに起因する考え方や行動、作法の違いなどに基づき、異文化の理解を図る授業です。ワークショップ形式のかなり参加型の授業でした。アジア圏出身の学生が私を含め3人しかいなかったため、指名されることが多かったです。自分なりに日本文化のことを考えて発言したので、異文化だけでなく、日本についても考える良い機会になったと思います。

Written English Communication for Exchange Students(後期)

ライティングを中心にした英語の授業です。毎回ではありませんが英作文の宿題が出ます。提出すると、しっかりと一人一人添削して返却してくれます。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

留学先では、East Asian Associationという国際交流団体に所属していました。これは、日本語や中国語を勉強したいスウェーデン人と、スウェーデン語や英語を勉強したい日本人・中国人が、お互いに教え合うというものです。私はスウェーデン語の授業を取っていませんでしたが、日常会話で使うスウェーデン語を教えてくださいました。あとは英語で会話して、英語の練習をしていました。逆に日本語や日本文化を教えてくださいました。中には日本文化にかなり精通している方や、日本語がペラペラな方もいて、逆に驚かされたこともあります。これから東工大の留学を控えている方や、留学を終えた人もいて、東工大の話をすることもありました。イベントもたくさんあって、スウェーデンの文化を知る良い機会を作ってくれました。メンバーとはかなり仲良くなったので、プライベートでパーティもしました。日本食を食べたいという要望があったので、手巻き寿司を振る舞ったこともあります。学内にジムや体育館があったので、日本人やスウェーデン人の友人と一緒に運動していました。スウェーデンで体育館シューズ、運動着、卓球ラケット、バドミントンラケットを買うくらい運動していました。旅行はノルウェー、デンマーク、北極圏には行きました。私はあまり旅行をしていない方だと思います。北極圏では念願のオーロラをみることができ(微小なものでしたが)、感激しました。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

2つあります。

1つ目は抽象的な表現になってしまいますが、包容力、適応力、柔軟性といったところですか。スウェーデンという文化も言語も人も、物理的環境も日本と異なる地域に半年間身を置いて、色々感じるころがありました。あらゆる異質なものを受け入れ、柔軟に適応していく耐性ができたと思います。環境に関して言えば、-20度なんて初めて経験したし、冬場の日照時間は6時間しかありませんでした。そんな中で現地の環境に溶け込んで生活していたので、適応力は付いたと思います。

また、異なるバックグラウンドを持つ多様な人と関わったことで、いろいろな差異を感じました。その差異は自分と違う「ものの見方」をしているからです。話したり、一緒にいるとその根源となる部分が垣間観られたりして非常に興味深く、素直に受け入れることができました。そこで、感じたものだったり得たものは、自分の考え方にすり合わされたり、あるいは別の考え方として自分の中にストックされたりしています。結果として、以前よりは視野が広がり、狭窄的なものの見方から脱することができたと思っています。

2つ目は時間に対する意識です。スウェーデンにはフィーカと呼ばれるコーヒープレイクのような習慣があります。みんなで集まって楽しくおしゃべりしながら、お菓子を食べたり、コーヒを飲んだりします。スウェーデン人は、この時間が大好きです。フィーカの本質は、休憩というよりその時間そのものを楽しむことだと感じました。少し話が逸れますが、日本人は忙しく働いているイメージがありますが、生産性は低いというデータがあります。しかし、スウェーデン人は逆だそうです。大学のコーディネーターはお昼にしか取り合ってくれないし、土日にショッピングに行くと、17時には閉まってしまう。しかし、一旦授業が始まったり、グループワークになると、一気にギアを上げてすごい集中力で取り組みます。そういった部分を見ていて勉強になったし、自分の中で時間に対する意識が少し変わりました。

⑥ 留学費用

JASSO から月8万円の奨学金をいただきました。残りは親からの仕送りと、日本で貯めていたアルバイト代を充てました。

⑦ 留学先での住居

大学の寮に住んでいました。大学から徒歩で20分くらいの位置にあります。留学を申請する時に、大学に寮の申請も同時に行いました。部屋はシングルで、コリドーメイトと呼ばれる寮仲間とキッチンやリビングを共有し、生活していました。

⑧ 留学先での語学状況

留学前に TOEFL (ITP) を一度受験しました。スコアはそれで十分でした。

スウェーデン人はスウェーデン人同士の会話ではスウェーデン語を使いますが、彼らの英語力はかなり長けています。年長者になると英語が通じない場合が多いですが、学生ならばほぼ100%通じると考えて良いと思います。あまり難しい単語を使わないし、発音も綺麗なため、非常に聞き取りやすかったです。

ただ、街に出ると、基本的に表記は全てスウェーデン語なので、買い物では苦労しました。牛乳だと思って買ったのがヨーグルトだったり、ベーコンだと思って買ったのが豚バラだったりというミスは茶飯事でした。

⑨ 単位認定、在学期間

奨学金の受給条件のため、留学中の単位認定をする必要があります。まだ行っていませんが、成績表が送られて来次第、取りかかる予定です。

⑩ 就職活動

私は就職活動を控えていたので、スウェーデンにいる時も少しずつ下調べを始めました。就職活動の関係で、帰国も2週間くらい前倒しになりました。ウィンターインターンシップの選考の時期と重なったからです。そのため、スウェーデンにいる時に ES の提出などは済ませていました。

研究室の所属については、4年生に入ってから始動するという情報を得ていたため、留学中は特に何もしていません。

⑪ 留学先で困ったこと

⑧でも回答しましたが、街に出ると表記は基本的にスウェーデン語なので、そこは少し困りました。

あとは、外食が高くて困りました。ですので基本的に食事は家で済ませていました。

外出先にトイレがあまり設置されていません。設置されていてもほとんどが有料なので、日本との違いを感じました。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

この派遣交換留学は、私の人生に大きなインパクトを与えてくれました。

派遣交換留学して、心の底から良かったと思っています。少しでも留学に興味があるなら絶対に行った方がいいと思います。